

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：令和4（2022年）年12月13日（火） 13時30分～15時00分

2. 開催場所：オンライン

3. 関係団体等：

主催：東京大学未来ビジョン研究センター

共催：一般社団法人航空イノベーション推進協議会、

日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同フロンティア人工物
分科会

4. 役割

（モデレーター）鈴木真二（東京大学名誉教授、東京大学未来ビジョン研究センター特任
教授、日本学術会議連携会員）

（パネリスト）河野重行（東京大学名誉教授、大学院新領域創成科学研究科特任研究員、
日本学術会議連携会員）

高村ゆかり（東京大学未来ビジョン研究センター教授、日本学術会議第一
部会員）

5. 概要：

航空機から排出されるCO₂削減に関しては、国際航空分野においてICAO（国際民間航空機関）で2050年に向けた更なる削減計画が示され、その達成には、技術開発のみならず、経済的スキームの導入、低炭素燃料への転換が必要とされている。本サイエンスカフェでは、クロレラからSAFの生成を目指した研究と、直近に開催されたCOP27やICAO第41回総会の話題を中心に国際的なCO₂削減目標に関してパネルディスカッション形式で開催し、インターネット開催の特徴を活かしたオンライン投票や、オンライン意見交換を実施した。オンライン投票では、SAF導入による航空燃料費上昇への利用者として1.5倍程度の航空料金上昇は受け入れ可能との意見が多数を占めた。意見交換では、光合成によらないクロレラ育成に関するCO₂削減効果への質問や、SAFの導入を誘導する政策的施策などに関する意見があった。開催後に、参加者へのアンケートも電子的に行い、SAFの実態や、国際的な合意形成や導入方針がよく理解できたという声が多く、更に技術的紹介を知りたいという要望も得られた。参加者が直接講師から見えないという課題はあるものの、インターネット開催の利点も確認できる開催となった。

6. 参加人数：

講演者等：3名

その他の参加者：42名

7. 特記事項：

特になし